

5/18/2010

都「水ビジネス」海外進出

海外の「水ビジネス」参入

を検討している東京都は、三菱商事などの日本企業連合が買収を決めた豪州の水道事業会社に対して、都のノウハウを生かした運営支援に年内にも乗り出す。

都の外郭団体「東京水道サービス」を活用してコンサルティング業務を受注し、社員を派遣する。都の水道事業がビジネスとして海外進出するのは初めて。

十七日午後には渡辺周総務副大臣が都庁で猪瀬直樹副知事と会談し「都が水道事業の海外展開に成功すれば、あちこちの自治体が手を挙げてくると思う。国としても後押しする」と支援を約束。六月に

指導ノウハウ水道に豪 1号受注

発表する政府の成長戦略でも、自治体水道の海外展開支援を盛り込む意向という。

三菱商事や官民出資の産業革新機構、日揮などが買収するのは、豪州第二位の水道事業会社「ユナイテッド・ユアリティーズ・オーストラリア」(UUA)。今後、UUAの事業を承継する新会社を設立して、都の水道施設の運転・管理などを受託している東京水道サービスとコンサルティング契約を結び、業務改善の指導を受ける。

都はこれに続けて、人口増加や経済発展で水需要が高まるアジア地域への進出を模索しており、八月十月には三カ国に調査団を派遣する。